

# 自治体窓口 DXSaaS 要件定義書

令和5年2月

第0.5版

# 目次

1. 概要.....	1
1.1. サービスの範囲【検討中】 .....	1
2. 機能要件.....	1
2.1. 業務機能.....	1
2.1.1. 業務の一覧 <更新> .....	1
2.1.2. 要求機能 <更新> .....	1
2.1.3. 使用性・操作性要件【検討中】 .....	2
2.2. 情報システム間連携要件.....	2
2.2.1. 各業務システム→本システムとの連携 <更新> .....	2
2.2.2. マイナポータル等の他サービスとの連携 【検討中】 .....	2
3. 非機能要件.....	2
3.1. 前提条件 <更新> .....	2
3.2. システム稼働時間 .....	2
3.3. ネットワーク要件 .....	2
3.4. クラウドサービス要件 【検討中】 .....	2
3.5. 情報セキュリティ要件 <更新> .....	2

## 1. 概要

### 1.1. サービスの範囲【検討中】

## 2. 機能要件

### 2.1. 業務機能

#### 2.1.1. 業務の一覧 <<更新>>

対象となる業務の範囲は各自治体が選択できるようにする事。。

(例：戸籍・住基・印鑑・税・国保・介護・後期高齢・児童手当・学齢簿等)

#### 2.1.2. 要求機能 <<更新>>

No	機能	説明
1	手続きナビゲーションができること	<ul style="list-style-type: none"><li>職員が住民対面で手続きをする際に、ライフイベントに合わせて漏れなく手続きができること</li><li>基幹システムのデータの活用ができること</li><li>運用に合わせて柔軟に業務フローが設定できること</li></ul>
2	申請書作成ができること	<ul style="list-style-type: none"><li>ナビゲーション機能で入力した内容を利用して申請書が作成できること</li><li>基幹システムのデータの活用ができること</li><li>運用に合わせて柔軟に申請書に記載される内容の設定できること</li></ul>
3	マイナンバーカードが利活用できること	<ul style="list-style-type: none"><li>マイナンバーカードから4情報等の自己情報を申請書に自動入力ができること</li></ul> ※活用方法は自由 (カード搭載のICチップの活用等が考えられる) ※4情報の読み取り機能に加えて、本人確認機能の追加についても現在検討中
4	他サービスとAPI等の連携ができるようにしておくこと	<ul style="list-style-type: none"><li>国や事業者が提供する他のデジタルサービスと連携ができること</li><li>基幹システムとの連携は疎結合であること</li><li>標準化後は各種自治体標準システムと連携できること</li><li>他サービスとの連携が可能となった時点で速やかに対応できるような設計となっていること</li></ul>

### 2.1.3. 使用性・操作性要件【検討中】

## 2.2. 情報システム間連携要件

### 2.2.1. 各業務システム→本システムとの連携 <<更新>>

データ連携又はデータを参照する仕組みを用意すること。その際、基幹システムへのデータ反映を自動化する場合は、データ連携（ファイル連携等）やRPA等の活用が考えられる。

また、既存の各基幹系業務システムからのデータ吐き出しは、自治体側の責任範囲で構築する必要がある。また参照可能な基幹系業務システムのデータの種類の種類は、利用自治体に依りて対応が異なることに留意する事。

### 2.2.2. マイナポータル等の他サービスとの連携 【検討中】

## 3. 非機能要件

### 3.1. 前提条件 <<更新>>

総務省及びデジタル庁で公開している「地方公共団体情報システム非機能要件の標準」を参考にし、窓口業務で利用するのに必要な要件を整備すること。また、クラウドサービス自体のサービスレベルは、各CSPが定めるSLAに準拠する。クラウドサービス標準のSLAを参照しつつ、各システム自体の可用性や業務継続性の確保は、各サービス提供事業者において、十分に技術的対応策を検討すること。

### 3.2. システム稼働時間

各自治体の窓口開庁時間は稼働していること。

### 3.3. ネットワーク要件

自治体から利用する場合は、ガバメントクラウド接続サービスの利用が想定されるが、自治体の状況に応じて接続方式は選択が可能。

SaaS提供事業者は、ガバメントクラウドの利用手続きに基づいて接続すること。

### 3.4. クラウドサービス要件【検討中】

### 3.5. 情報セキュリティ要件 <<更新>>

- ・ ガバメントクラウドでは、セキュリティ基準や適すべきテンプレートが示している為、それらに対応すること。

※詳細はガバメントクラウド技術マニュアルを参照すること。

- ・ システムごとの追加運用機能（アプリ監視やログ出力監視、アラート設定など）やシステムとして必要なセキュリティ対策機能は、ガイドを見ながら利用側で設定すること。
- ・ アプリケーション領域の脆弱性対策は実施すること